|  |
| --- |
| 地域振興会議資料 |
| 平成27年5月18日 |
| 財産経営課 |

福部町総合支所整備（耐震化）の推進について

　今年度、福部町総合支所の耐震化に向けて次の考えを基に調査・検討を行います。

１　現況



　・庁舎は耐震診断結果が基準[[1]](#footnote-1)（Is値0.6）を下回っています。

　・庁舎、延床面積１，７２５㎡の内、未使用面積が約１８０㎡（２Ｆ）

　・Ｈ１２増築部（新耐震基準）を郵便局、会議室等、書庫、車庫として使用

　・Ｈ２６．３に郵便局が移転（５４㎡）

２　近隣施設の状況



　庁舎近隣施設で活用が可能と思われる施設は上表の２施設が考えられますが、小学校は小中一貫校の計画があり、中学校については高台に立地し玄関付近に駐車場がないことなどを考慮すると活用は難しいと思われます。

　また、福部町中央公民館の耐震診断結果が基準を下回っています。

３　今後の進め方

　現庁舎の耐震改修、新築、増築部分の活用について、整備費及び維持管理経費などの比較検討を行います。

　・防災機能の向上

　・ユニザーサルデザイン等の環境づくり

　・にぎわいづくり（公民館との複合化）

　・施設の効率的利用など

＜予定＞

平成27年5月～12月　総合支所耐震化基礎調査を実施

平成28年1月～　　　 調査結果を基に整備方針の検討

1. Is値：構造耐震指標といわれ、当該建築物に耐震性があるかないかを図る指標Is値が0.6以上のときに、その建物が安全であるといえます。 [↑](#footnote-ref-1)